

働きながら野球打ち込む

和歌山箕島球友会

進め！ドームへ

都市対抗予選を前に

一下一



総菜を並べる、仕事中の黒川投手



練習でキャッチボールをする
黒川投手（有田市）

（有田市）では、甲子園で活躍したかつての球児やプロを目指す選手たちが、働きながら野球に打ち込む。

黒川弘勝投手（25）は、チームを支援する地元大手スーパー「松原」の海南阪井店で、総菜の調理やパック詰め、売り場への陳列などに汗を流す。

（有田市）では、甲子園出身。投手として活躍したが、甲子園出場はかなわなかった。

「どうしてでもプロになる夢を諦めきれない」。

「試合の日などは仕事を休ませてもらうこともきつい。それでも「試合の日などは仕事を休ませてもらうこともある。だからこそ普段の仕事はしっかりと話す。

家事は妻の斎代さん（25）に「任せっきり」だが、8ヶ月の長男、海都ちゃんの育児は協力していいる時が一番ほっとする時間」。試合があると一緒にスタンドに来ててくれる。「家族が何よりの支え。2人がい

（奈良県）出身。投手として活躍したが、甲子園出場はかなわなかった。

「どうしてでもプロになる夢を諦めきれない」。

「試合の日などは仕事を休ませてもらうこともある。だからこそ普段の仕事はしっかりと話す。

家事は妻の斎代さん（25）に「任せっきり」だが、8ヶ月の長男、海都ちゃんの育児は協力している。子どもをお風呂に入れる時が一番ほっとする時間」。試合があると一緒にスタンドに来ててくれる。「家族が何よりの支え。2人がい

和歌山箕島球友会

6時前に出社。午後4時頃まで働き、午後5時半から8時まで合同練習、さらにそれから

約1時間の自主練習をするのが、いつものパターン。自分の時間はほとんどなく、体力的にもきつい。それでも「試合の日などは仕事を休ませてもらうこと

チームには今年、全

国から甲子園経験者

ら、若手が多く加わっ

た。東日本大震災被災地からも高橋祐太選手

（22）が入団した。石巻

専修大3年の時、宮城

県利府町で被災し、一

緒に暮らしていた祖母

と伯父を亡くした。ま

だ試合に出る機会はな

いが「いざれば試合を

作れる投手になりた

い。プロになって地元

を元気づけられれば

思い胸に、走り込み、

投げ込みに励む。

プロへの夢諦めず

黒川投手 家族が心の支え

黒川投手

家族が心の支え

【海南市】

【竹田迅岐】